

2F-18

特 15
493

216
507

THE TRUE GOD

神
を
論
ず

哲學博士アール・ビー・ビーリ君述

東京
教
文
館

ANALYSIS.

Introduction—Prevalent conceptions of God low and vague.
Need of further teaching.

Theme—THE TRUE GOD.

1. His Existence, proved by
 - a. Testimony of consciousness.
 - b. Witness of creation.
2. His Nature.
 - a. Is one God—Monotheism and Polytheism.
 - b. Is a Spirit.
 - c. Is Creator of all things.
 - d. His attitude toward men—a loving Father.

神論



佐賀 哲學博士アール・...



方今日本の状態を観察は神祇と崇稱する者夥多あります之を言へば神
 社を謂ふに及ぶる神と呼び佛と稱する異様な偶像を造へて祭り加之毎
 戸に時度神棚や佛壇を設置して其中にも種々な崇拝物を裝飾たて有
 のを見受ました寸時道路を歩行ても眼に觸るものは社に祭肥である
 石像ではありませんか随て又神々の名稱も數多あつて悉皆は演述べ
 盡の暇は有ませんが一二を言へば姪子とか大黒とか地藏とか權現と
 か何とか乎とか夫はく神と名稱のつく者が夥多い事です而てその
 偶像をば人々の隨意に撰定び歸依禮拜で居られます縁之觀之日本人
 の腦裡に神と言ふ思想の染込で有ものと考知れます併し此神と言ふ

観念は有もの、其懐抱く観念は至極て下卑なものです如何ならば彼祭
祀ものにも優劣があつて人を善導いて助くる者もあれば人を頑迷に
誘陷ものもあり道德の神もあれば不道德の神も有て若し人が行つた
ら恥とする醜行も偶像が行ては苦うないやうに記載た古籍を讀まし
た甚さに至ては稻荷大明神とは倉稻魂であることを知らないで野狐
を禮拜み辨才天として蛇を拜む此様に動物をさへ禮拜む者が有とき
きました勿論其祭典の儀式を瞥見ても人々の観念の下卑いことは自
然と明知れます苟も神と尊敬はるる者を欺偽たり愚弄にしたり殘酷
いことは神体を浴油にする坏と不敬千萬る事も有ます又立願の意義
を注視れば神聖高尚い要件を求めないで唯眼前の利慾を逞して恐ろ
しい復仇的に人の生命を斷つてまで立願を籠る者も有ます以上の事
實から推考ふれば奈にも日本人の抱持て居る神に付ての観念は下卑

いものとせねは成ませんでしやう
借て前述之通り日本在來の宗教は至極繁雜り恒河の佛八百萬の神が
あつて何れを眞神とするか當迷ひますから眞の神と言ふ事に就て説
明することは敢て無益でありますまいと存す
第一、眞の神と言ふものを論究するには先づ其眞の神は在す乎在さな
い乎と言ふ事を斷定めて置かねばなりません
前に陳述た通り日本中等已下の人々の思想には既能く神の在すと言
ふ観念を抱持て居られますが中等以上の教育を受けた社界では却て神
の存在を疑ふ人が衆多た有事を見受ます予は曾て官吏某に英語を教
授て居りましたが近比一顯官が宗教上の談話中に如斯言語が有まし
た余は神の存在が明知ません若し神が實在なら寔に人は安心立命を
うけて慰籍を得らるゝでしやうけれど實際有無を決定る事が能ませ

んと言われました。元來教育社界には不可思議論が流行から一部の人は神の存在を肯はない計りでなく實際神を無いものとして神を信仰する人を却て小兒的く蔑視て居ます。夫だから如何しても于茲神の存在を論述さねばなりません。

四

(い) 人は直覺力を以て神の存在を感ずるものです。神學上の専門語で陳述せば靈魂の自發的の證據です。則ち吾儕が精神心には自然神の存在を證明するものです。すけれども讀者諸君の間に若し余は神の存在を知覺ないと拒む方々があるなら其人は夜中獨居して静に天体を仰て眺望なさい。確に之を創造して且支配する意思者の有る事を直に感覺れ。又危険い場合に遭遇或は懇親の人の將に死期に瀕あるのを見るならば儘に神の存在を悟られ。又深更け人静まつて後ら心波を静め自己の心事を省み。己れは何處から來て何所に往く者乎と考

ふるならば我を創造り我を善導く靈のものが存在を確に感られます。勿論人には各々良心が具有て其良心は殊に神の存在の證明をします。所謂人は罪惡を犯したら必ず罰をうけ善行を爲たら褒賞を得ると言ふ思考は誰人でも抱持て居るものです。此れは他の譯ではない。嘗に惡は罰し善は善みする神の存在を證據する直覺力です。

(ろ) 天地萬有を洞觀せば夫に由て神の存在を明瞭に知る事が得ます。此森羅萬象は如何して創造られたか何處から來たかと考ると到底一の結果です。結果なら原因の有る事は陳述までもあります。則ち原因結果の理法に基いて推論あらば忽ち神の存在を知得られます。又宇宙萬有を観察れば混亂不規則ものは毫も有ません。悉皆く順序を整へ秩序を備へ意匠のあることは明白です。若し世界が自然と發生たものなら順序も意匠も有ますまい。其一例を枚举れば近頃所々に善く利用

五

てある諸種の機關を闕なさい機關の構造には多くの器械が具足してある併し其機關が自ら造成また自動くと言はる諸君は果而夫は白痴の言語で有と批評なさるでしやう然らば其細少き機械一個でも自成なものであるなら況哉萬物の廣大な順序の完備た世界は自然と成生る譯は有ません其外に神の存在を證明する事柄は多くあります茲に一々枚擧る違はありませぬ兎に角神の存在は眞實です其神は永遠より永遠まで生きて在す獨存者である故諸君に注意を促し記憶を覚ることには神を崇信する者を愚蒙として疏むのは大に不可ないことであると言ふのです蓋は我儕は數多の證據を見て神の存在を信するものです夫を小兒の如く視すのは恰と世上の博學者を妄評して小兒視するに異たことはない如何なれば文明開化に進み教育に發達してある西洋各國では神に關する思考は種々で一定りませんが神の存在を拒む輩

は極めて僅少です哲學者でも理學者でも地質學者でも經濟學者でも政治家でも其多數は皆神の存在を明に認識して居ります若し神の存在を信仰する者をば白痴とする時は諸君が愛子等を學藝研究の爲に西洋の各國へ留學させるのは其愛子等を白痴にするのですか如何なれば教ゆる教師等が神を信仰する白痴で有からず日本と西洋との學生に差異の有るのには此處です歐米の社界では不信神者こそ輕蔑しむれ神の存在を説く教を決て無道理とはしません宜く眞の理に合たものとして貴びます夫だから信者よりも却て不信者をば愚昧であると言はねばなりません聖書に

愚なる者は其心に神なし

と記てあります

第二 既に述べました道理に依て獨存者の神が存在とすれば其神は如

何ものか又如何な性質乎と研究せねばなりません

(い) 神は唯一なる事

世界の宗教を大別すれば二種になつて一神教と多神教とです回々教や猶太教や基督教などは皆一神教で其他佛教の様な宗教は渾て多神教です此日本も古代は一神教で有たと聞いただけ近頃の形勢を洞観れば儘に多神教の姿と論定られます基督教は一神教ですから如斯多神教の宗教に反對して神は獨一であると主張ものです然して吾儕の神と崇奉るものは決して諸神の首領ではなく雷に此神の他に神がないと信仰して居るので其譯は原因結果の理法によれば神が唯一であるべきことは瞭明です元來原因には太上原因と中段原因とあつて中段原因は幾何あつても差問ないが太上原因は必ず唯一で無くてはならぬ加加之宇宙の間に有る順序や秩序意匠等より勘考ても其意匠の

有る創造者は屹度唯一の神でなくてはならない一例を舉れば軍隊の中に若し數多の指揮官が有て各將氣儘に號令を發すならば軍兵は進退の不規律のに困し逆も花々敷戦勝は得ないから大元帥は唯一名でなければなりません又國家を統一するのも同位同權を有つ統治者が衆多あつたならば民心は狼狽て不治安から天皇陛下は御一位に限るのですまた世間にある大發明物を見撃て汽車汽船は勿論百般な復雜な機械でも其發明者は一個に豈人ですされば此世界の創造主で意匠のある神は獨一でなければならぬ筈です又世界の歴史に由て鑑みても多神教は屹度未開の地に行はれ一神教は皆開明の國に行はれつゝ有ることが明知す然して見ると多神教を信するのは人數の智慧や徳義の發達に障害あるもので基督教を信するのは人智の進歩を奨勵し道徳の上達を善導くこととは見易い事實です日本は暫く措き今日

の文明の各國は悉皆基督教を奉し野蠻の諸國は凡て多神教を信仰して居ます決して蠻族の中に基督教を信仰する國は有ません彼の多神教は御一新以前の舊弊な日本人に適應かも知れないが方今文明的の人々には不適應です舊幕時代の状況を回想れば各地は諸大名が割據して居たから日本全國の政治は一定しないで領主は自儘勝手の施政法を以て各自の領地を支配して居られ然して今日から言へば随分慘酷無道い處置が幾許もありました加之其比の不便は言ふ外のこと郵便もなければ電信もなく通用貨幣と言たら一地方限りの國札といふものが流通して有たから他國と貿易することは自由には能あかつた其上至極危険の事は武士は誰でも皆大劍小刀を佩帶して横行し斬捨御免といふ墮制もあり或は隣邦は互に敵視して鬭争を起し于戈を交へ良民を塗炭のうちに苦むるのは珍らしくなかつた然るに難有ことは

十

時運一新り廢藩置縣王政復古つて聖代泰平人民悉く聖恩に沐浴る様に成つたのは唯主上御壹人の御手に政事の歸したからです然らば大宇宙の平安を保たしむるには宇宙の政權は獨一の神の手に歸しなければならぬ譯です嗚呼敬愛する日本國人よ既往の事情を顧て目下の宗教界の喧騒しく複雑だ状態を鎮靜一變て専ら諸人の企望を満足し宗教心の安堵を與ふる爲め數多の神々を廢擲て獨一無二の眞神を領得て精神の主公となさい

(ろ) 唯一の眞神は靈なる事

凡る元素と言ふものは原より物質ではない悉く靈物です靈とは人畜魚鳥の様に骨肉を聯ねて構造物ではない昔し耶蘇基督がサマリヤの婦人に教示て

神は靈なれば拜するものも亦靈と眞を以て拜すべし
と仰られました無論神は靈だから吾人が肉眼を用て見る事が能ない

或人の恩考に神を實見らるゝならば信仰が爲得ませうが見ぬ無いのを如何しても取極る事は不能と併し靈物は人の眼眸に掛らないから見ぬないのは當然です爰に一篇のおもしろい話柄がある基督教の初代に該弟子等が小アジアの諸國は言に及ばず羅馬帝國にまでも基督教を宣布べ漸々傳播まり遂に羅馬の都會でも隆盛になりました時に該國の皇帝は或一人の宣教師に勅召して尋問なさいました爾は神の存在を云張て教導れと朕は未だ其存在する神を目撃たことがない故朕の眼前で神の姿を明白に見せよと命られました彼宣教師は奏上ぐるに神は靈ですから肉眼にて見る事は能ませんと帝再び宣く爾の答は甚だ不明瞭とである是非其神をわからさまに見せよと茲に於て宣教師は天上に赫々く太陽を指して陛下願はくは彼の日輪を熟視なさいと皇帝日輪に眼を放しましたが日光に忽ち眼中を映射られ眩くて其

差明さを避くる爲に遂に見る事が能なかつた其時宣教師は透さず差上て被造物の大陽ですら見る事が叶ないなら況て創造主の神を見る事が能ない筈でせうと言上げましたと言ふ話がございます夫れ使にすら見ゆる事が能ないなら争て主人公に見ゆる事ができませう其不能見靈の神を賤しい人間が卑い想像を用て金屬や石材などで形體を工造るならば其眞の形に合はない而已か眞の神に對て以の外の無禮です故基督教の十誡に神の形體を工造ることを豫め禁てあるのです此禁に違犯て種々な物質を使用ひ神の形體を工造るのは大なる罪過です蓋は眞の神は靈にして人の眼に觸るゝもので無からず(は)靈なる神は天地萬物の創造者であること神の造物主であることは既や前に陳述しましたが尙此を一問題とわけて委しく論辯ませう凡そ世界の起源に就て二個の説が流行られて有

ます壹は進化論又壹つは創造説です其進化論は定而諸君も承知でせう最初混沌とした形状で有たが世界の材料が自然ら發動て成る種々な作用に由て生物を産し其生物が繁殖て遂に今日の如く饒多の生物が出たと云ます而て此處に優勝劣敗の天則があつて各物其作用が境遇に適應は生存へそれに不適應は消滅ると言ふのです借此の天則の働きに因て物が變化し漸々進んで遂に萬物が自然ら生産したと言ふ論説は如何も感服して人心に受取られないことである是に反して太初に神天地を創造り遊したと言ふ創造説は善く人の道理性に適應て容易く信せらるゝ説です聖書に

彼に由て萬物は造られたり天に在るもの地に在るもの地の上に在るもの人の見ることを得るものを見ることを得ざるもの或は位あるもの或は主たるもの或は政を執るもの或は權威あるもの凡てのも

の彼に由て造られたり

とあり又曰く

天と地と海及び其中の凡てのものを造り給へる活る神

ともあります爰に一條の見認て置ねはならないことは吾儕は神に造られた者だから悉皆神の者であると言ふことです然すれば萬民は此神を禮拜み此神に事へ此神に服従の責務があります加之此本分を怠り神に對ひ忠實に奉事なければ必ず罪の負債となるのです蓋は神に造られた者の神に服従は當然のことです嗚呼神に造られた讀者諸君よ諸君は果して眞の神に奉事服従れつつ居らしやいますか

(に) 靈にして造物主たる獨一の神は人類に對する聖旨は如何かと云ふこと

是は最も大切な問題である天地の主宰者の神が吾儕に對する其聖旨

が若厳酷凌競いものなら吾人こそ悲境に陥る禍害なものであれ蓋は吾人の行爲が不義からです併し神が人に對する聖旨は温順懇切である則ち聖書に

神は愛なり

と所謂此の造物主の神は天地万物を創造り夫れを人に與へ委託して人の生涯を平安く送らるゝ様に優渥な恩恵を施行なさいつゝある然るに儒教では

神を敬して遠退けよ

と教訓て有りますけれども基督教の神は人に親近れ又人に愛望せらるゝ神です其處で基督教の主意を約めて言へば神は萬民の父である如何なれば世間の親父が自自の子を愛撫み教育するやうに神は人を愛獲つて攝理なさいます神が萬民の父と言ふ教法は基督教以外の宗

教中には毫も見ないものです英國の大學者マクスムーラ師が神の父であることは基督教の専有教であると言はれましたのは尤のことです有と思ひます其父の神が此世の人に對する慈愛の廣大なことは實に可驚なものです其神の愛の證據を尋究れば數多ございます最も洪大無邊なものは聖子耶穌基督を人類に與へなされた事です是に勝る大な愛は世に有ません其愛に添えて恵の神は無盡藏富有者ですから我等の需喪物を知つて日々施與へ保養なさいます聖書に

凡ての善き賜と全き賜はみな上より諸の光の父より降るなり

と記して有ます神は大陽を用ひ世界を照し我等と地の全面を暖め又雨露を降らし我儕の食物を潤し是に由て其愛を顯明になさいます夫而已ならず尙神は人類の生命をも保護なさいます蓋は人は貪な神に頼て生存る者であるからです如斯大なる神の恩恵と其保護が無つた

なら人は一日も世に在て棲息ことは能ません併し愛に満ちたる神は我儕の面前に此美麗便益純全たる世界を創造り我儕に安住ことを許可なさいましたのは取りも直さず吾儕に對する神の愛の明示れです或る誹難者が神は數々人を虐境に遭遇せ病苦や饑饉又は天災地變等を降して困難るのを見れば人に對するの神の愛は無ものであると言れましましたけれど予は之に答辨て神の愛を解き明しませう神は強ち人を艱苦に導き災害に誘ふものではありません吾儕の病疾や災難は自身油断や不攝生から醸すものです即ち人は自己懈怠て家業に不勉勵の時は自然貧窮を招き第宅庭面が清潔ないならば衛生に害あつて病魔に襲れます此等の禍害は神から來るものでなく悉皆自業自得と言はねばならぬ乍併人間の幸福を増加爲には時として做醒を與へらるゝ事もある蓋は人もし罪惡に陥うとする場合には該邪曲を矯正し懲

さ無ければならない故です予が今言つた此理論は決して神の恩愛に背戻ない却て神の慈愛に適合ものです假令ば人の親父は自己の子女を愛育するのが普通天性であるが若し子女が過誤て罪惡に陥る所爲を發見ならば其慈父は直ぐに懲治むるでせう聖書に亦我儕の肉体の父は我儕を懲めし者なるに尙是を敬へり況て靈魂の父に服ひて生を得ざるべけんや肉体の父はその心に任せて暫く我儕を懲しむ然ぞ靈魂の父は我儕に益を得しめて其聖潔さに與らせんが爲懲しむることを爲すとあり尙基督自身此れを教示てそれ神はりの生み給へる獨子を賜ふ程に世の人を愛し給へり此は凡て彼を信するものに亡ぶることなくして永生をうけしめんが爲也

と仰られました
 結局に到て讀者諸君に企望む要領は神と言ふ觀念の發生つた時は最も高尚な眞の神の思想を懐抱なさることを願ます取り譯け神に屬く觀念の低卑時は人類の品性の發達を障礙げ特に國家の開明の進歩に妨害の有るものです又各君の一身に取ても到て不利益でございます故迅速に拙劣き思想を換て神は正に天地萬有の上位に在す最上至高の聖者であると言ふ事を熟考へ其無上至尊聖者は唯一で靈たる眞の神であることを記臆て天父皇上帝とのみ禮拜なさることを懇望ます

明治三十四年九月二十五日印刷
 全 九月二十日發行

編輯兼發行人

東京市京橋區銀座四丁目二番地
 堀 田 達 治

印刷人

東京府豊多摩郡千駄谷村大字原
 宿百七十四番地
 安 西 唯 三 郎

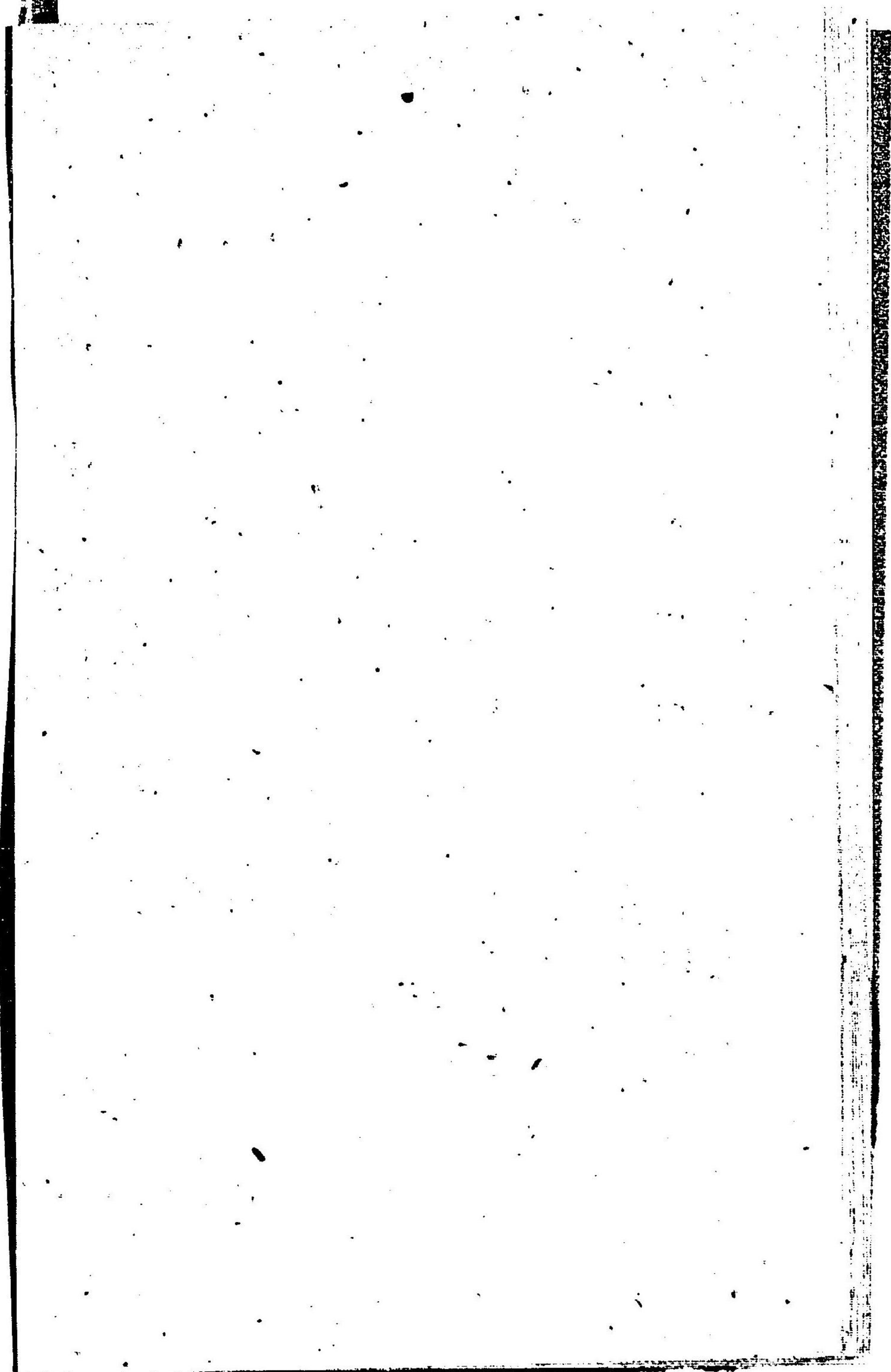
發行所

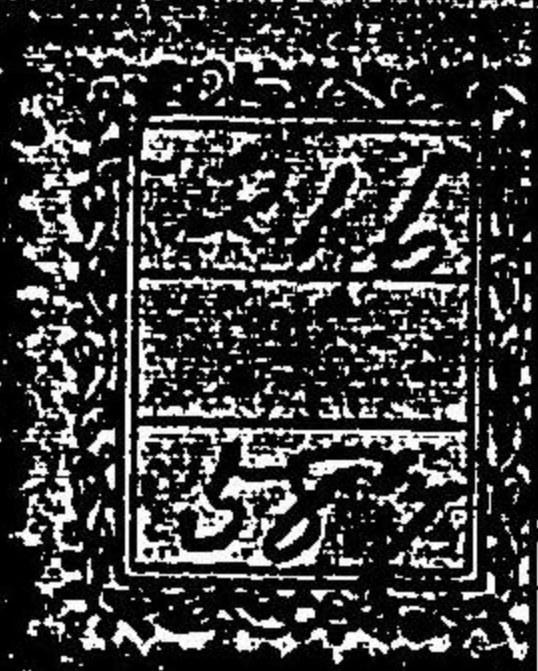
東京市京橋區銀座四丁目二番地
 教 文 館

印刷所

東京府豊多摩郡澁谷村大字青山
 南町七丁目一番地
 青山學院實業部
 (電話新橋一一八六)

(電話新橋二五二六)





020326-000-5

特15-493

神を論ず

アール・ビー・ビーリ/著

M34

ABI-0132

